

数学理科甲子園 ‘20

★数学理科甲子園 対戦方法及び順位の決定★

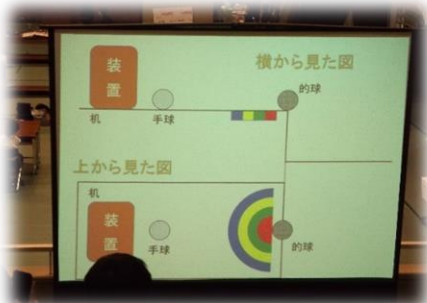
- (1) チーム対抗戦とする。(1校1チーム6名)
- (2) 数学、理科、科学技術等に関する基本的な問題、応用問題、総合問題を、チームで協働して筆記競技、実技競技で競う。
- (3) **予選** (筆記競技) : チーム対抗で、知識を問う問題及び知識の活用について問う問題を解き、個人戦 (数学分野 2 題、理科分野 6 題) と団体戦 (数学分野 2 題、理科分野 6 題) の総合計により、上位 16 チームが本選に進出する。
本選 (実技競技) : 16 チームが数学や理科にかかわる思考的、工作的問題や、実験、観察などの問題に挑戦し、予選 (筆記競技) の成績とあわせて、優勝、準優勝、3 位～5 位を決定する。



数学・理科甲子園 2020 に出場した今年の市西のチームは、長谷川慶多君 (2-1)、松原 大空君 (2-1)、上野仁君 (2-1)、芝優斗君 (1-8)、服部優作君 (1-1)、飯田淳太郎君 (1-1) の 6 名による「自称市西(狩)」です。今回は、コロナウイルス感染予防のため無観客かつ予選と本選のみによって競われました。本選に出場できるのは参加 67 校中 16 校で、自己採点では通過できるか危ぶまれました。1 位から順に本選出場校が発表される中、ギリギリの 16 番目に本校のチームが呼ばれました。本選の数学競技は図形の組み合わせを見つける課題で、全部で 39 通りの中、健闘し 13 通りを見つけ出しました。理科競技は、ビリヤードの手球を的玉

にぶつけて台から落とし、手球を止める装置をつくるという課題で、ほとんどのチームが手玉も落としてしまう中、見事に手玉を止めることに成功しました。本選競技での活躍が光り、総合順位は 7 位でした。本選に出場できたことと、本選で良い結果を出せたことで、皆満足感高く帰路につくことができました。

本選理科競技の課題



生徒たちの声

6 人で力を合わせて頑張りました！
総合 7 位でした。

様々な学校が参加していてとても緊張しましたが、面白い問題ばかりで楽しく参加できました。16 位で予選を通過したときは、どうなることかと思いましたが、チーム全員力を合わせて 7 位という結果が出せてうれしかったです。